



# 愛知陸協広報

第13号

21年3月27日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

e-mail ark@marble.ocn.ne.jp

ホームページ: url http://goldjaic.org/jaic/member/aichi/

## 一年を振り返って

副会長兼理事長 國分 一郎



特筆すべきことは、第26回レディース陸上競技大会を立派に運営し成功させたことです。大会のポスターを2案作成し、女性委員会の意見を入れて1本に絞り全陸協に発送しました。要項もたくさん作成し発送しました。その結果、1,475名の競技者が参加し、前年の広島大会の3倍になりました。競技開始時間を9時からに繰り上げ、タイムレースを取り入れることで対応しました。それでも、後半には照明をつけて運営し、やっと18時10分に終えた次第です。静岡・岐阜・三重の3県から5名ずつの女性審判員に参加していただき、さらに長野を加えた4県から理事長および女性委員長にも参加していただきました。東海地域の交流も大いに図れたと思います。主管料をいただきプログラム広告もたくさん集めていただきましたので、わずかな赤字で終わることができました。大会新記録も4つ出ました。みんなが力を合わせて取り組むことは素晴らしいことであると実感しました。

110mHの内藤真人選手(ミズノ)が、昨年3月8日にスペインにおいて室内60mHの日本新記録(7.75)を出しました。北京オリンピックがあり、愛知選手権大会に参加できませんでしたので、特別表彰をする機会がありませんでした。特別表彰のトロフィー及び副賞は、豊田市の実家に送付しました。

7月にハンマー投の記録挑戦競技会を中京大学(豊田)で2回行ないました。2回目の競技会を終えた後、室伏広治選手の壮行会を愛知陸協・中京大学・同大学陸上競技部・三好町・中部実業団の5者で行ない、愛知陸協からも激励金を渡しました。「皆様の期待に応えられるよう頑張ってきます」との言葉がありました。北京オリンピックが近づいて来たら居ても立ってもいられなくなり、鳥の巣競技場に出かけました。練習で80m近く投げていたので安心して見ていましたが、大会では皆様のご存じの結果でした。しかし、2・3位の選手のドーピング違反が発覚し、3位に繰り上がるとのことです。日本陸連に問い合わせたところ、JOCから正式な連絡がまだ来ていないとのことでした。それにしても2回続けてオリンピック上位入賞ですから、大いに喜ばれたいと思います。

岡崎城西高校の中村明彦選手が、八種競技において次々と高校記録を書き替えました。彼の最高記録は5900点ですので、全国高体連・愛知県高体連からも特別表彰されるものと期待しています。毎年47都道府県の最も優秀な成績をあげた高校生に、日本陸連より『春日弘章』が授与されますが、愛知陸協は中村明彦選手を推薦しました。

大分国体の成績は、天皇杯第18位(45.5点)、皇后杯第28位(11.5点)でした。成年及び女子で得点が取れないことが大きく響いています。ブロック別では、競歩・投てき・障害の得点が取れていません。実業団チームからの参加がむずかしいことや、大学生に傑出した競技者がいないことが原因です。人口の少ない県でも愛知より上位の県がいくつもあります。素質のある人を見つけて育てていくことが大切だと思います。優秀な中・高生指導者が何人もいますが、さらに、こうした人が増えて行ってほしいものだと思います。県からの強化費はどんどん減らされていますが、愛知陸協は減らしていません。強化合宿・強化練習会が実りあるものになるよう、継続的な心のこもった指導をお願いしたいと思います。



スタートトラックを走る選手たち



笑顔で観衆に応える高橋選手

写真提供：中日新聞社

## 支 部 報 告

## 名古屋支部

平成20年度には、県中学新記録(6種目)・県高校新記録(4種目)と中高校生の活躍に目覚ましいものがありました。県陸協の支部陸上教室(瑞穂北陸4回・大高緑地1回・知多2回・半田3回)も、参加者が多数あり盛況裏に終わりました。関係コーチの方々のご尽力に感謝し、参加者諸君の変身とさらなる飛躍に期待しています。

いよいよ平成21年度の陸上シーズンの幕開け。昨年同様、中高校生の一層の活躍に期待しています。更に、大学一般社会人の方には、若いジュニア層に負けず、愛知の陸上界のリーダー役として、不況の嵐を吹き飛ばしてください。

今年度から、大会申込みはパソコン処理、参加料も郵便振込に変わります。詳細は支部要覧を参照してください。

支部の理事が一部変わりました。審判員の方々には、好記録を期待し、大会審判に一層のご協力をお願いします。

## 1 平成20年度名古屋支部表彰(4/5・表彰伝達)

## ・優秀選手賞

- ①大学社会人 山崎由加里(さかえクリニック) 100mH
- ②高校生 山内博貴(中京大中京) 400mH  
鈴木大介(名古屋大谷) 200、400m
- ③中学生 糟谷隆明(名古屋市守山西) 走高跳  
岡田壮平(名古屋市東港) 400、800m  
清水大樹(春日井市味美) 砲丸投
- ④小学生 鷲見梓沙(JAC豊明) 100m、愛知駅伝区間賞  
岩崎 聖(なごや陸上クラブ) 80mH

## 2 平成21・22年度、新理事(6名)

平川貴之 西川香織 可知裕行 榊原正弘  
竹内 猛 長谷川欽市

## 3 今後の予定(4~6月)

- ①4/4・5(土・日)第1回名古屋支部陸上記録会(瑞穂)
- ②5/9・10(土・日)第2回名古屋支部陸上記録会(知多)
- ③5/22(土)名古屋支部中学混成・小学生リレー大会(半田)
- ④6/6・7(土・日)県選手権名古屋支部予選会(瑞穂)
- ⑤6/13・21(土・日)中学通信名古屋支部予選(13知多・21瑞穂)  
(坂井田藤三)

## 尾張支部

全天候型陸上競技場 完成間近!!

1 平成3年に始まった第1回目の陳情、平成6年に行なった第2回目の陳情は残念ながら空振りに終わったが、今思えば、先輩諸氏及び関係者の努力の蓄積が成功につながったと確信している。今回(3回目)を概略振り返ると、平成16年(2004年)9月に「愛知県一宮総合運動場、陸上競技場を全天候型陸上競技場に改修をお願いする陳情書作成委員会」を発足。平成18年2月22日に陳情書提出(県知事、議長、副議長、教育長、文教委員長)。同年同時期開催中の県議会の一般質問(3月1日)で陳情内容が取り上げられ、神田知事から「子供たちの競技がきちんとできないのは問題である。時期を含め、地元の要望に応えられるよう検討を進めたい」との回答を得る。同年5月14日、県教育委員会体育スポーツ課の担当者から「平成21年4月までに、競技運営上必要な建物を含めて全天候型陸上競技場を造ります」との朗報を得る。その後の施設、設備、



備品等について、具体的に体育スポーツ課の担当者と交渉を重ね、予算額がまとまった。平成20年7月中旬から着工。現在は3月19日の工事完了を目指して急ピッチで作業が進んで

いる。トラックはレーン表示をする少し前の段階。メインスタンドには屋根が張られ、工事用の足場も取りはずされ(写真)、電気関係、内装を中心に進行中である。2月下旬から色々な備品搬入が行なわれている。3月中旬までには検査も終了し、3月28日(土)、29日(日)に公認検定が予定されている。その後は、支部が中心になり、施設、設備等の利用、実践練習を2回ほど実施し、4月4・5日(土・日)の第1回支部記録会開催に間に合わせたいと考えている。

4日(土)10時から約30分間、県主導での記念式典。続いて地元の小中学生の希望者を対象に体感走(小学校低学年は50m、他は100m)を男女別に実施し、時間に余裕があれば、芝生を除いて自由走タイムを設ける。

芝生の利用は夏以降になるが、まさに一日千秋の思いで待った全天候型陸上競技場で、思い切り走り、跳び、投げてください。尾張支部のさらなる飛躍を期待しています。

## 2 平成20年度、全国大会等への出場者

## ☆第62回全国高校陸上競技対校選手権

- ・嘉和知諒(津島北) 110mH・400mH
- ・一宮西(八木博靖・鈴木翼・大林稔和・平野達也) 1600mリレー
- ・光田理子(津島北) 3000mW
- ・大津苑美(一宮西) 3000mW

## ☆第63回国民体育大会

- ・赤嶺 愛(起工高) ハンマー投
- ・飯田美咲(弥富中) 100mYH

## ☆第35回全日本中学陸上競技選手権

- ・加藤 修(甚目寺) 200m
- ・河室裕貴(弥富) 200m
- ・山田諒馬(浅井) 400m
- ・石黒大介(今伊勢) 1500m
- ・杵木聖貴(古知野) 110mH
- ・墨 訓照(木曾川) 砲丸投
- ・飯田美咲(弥富) 100mH

## ☆第24回日本ジュニア選手権

- ・葛西健人(起工) ハンマー投
- ・赤嶺 愛(起工) ハンマー投
- ・佐藤絢香(津島北) ハンマー投

## ☆第39回ジュニアオリンピック

- ・加藤 修(AC一宮・甚目寺中) A200m
- ・山田諒馬(AC一宮・浅井中) A400m
- ・飯田美咲(弥富中) A100mYH

## ☆第14回全国都道府県対抗男子駅伝

- ・石黒大介(今伊勢中) 第6区(3.0km)

## ☆第24回全国小学生交流陸上競技大会

- ・秋江洋志(AC一宮) 100m

以上の諸君は支部表彰対象者です。

(小椋 征弘)

## 西三河支部

本年度の行事も多くの関係者の協力が無事終了することができました。3月の総会が本年度のまとめ・来年度のス

## 学校紹介③ 六ツ美北中学校 祝 全国中学駅伝愛知県勢男子初の表彰台(3位)



紀平先生(中)と川端先生(右)

昨年12月に山口県で行なわれた全国中学駅伝で男子の愛知県勢で初の表彰台に上がった六ツ美北中学校を訪ね、紀平高之先生、川端尚子先生からお話をお伺いしました。

訪れた際にまず目についたのが、正門脇の塀に取り付けられていた駅伝部の全国大会3位入賞を祝福する看板でした。これはもう一枚、グラウンドへの入口にも立てられていました。学校を挙げて駅伝に取り組んでいるのだという思いを強く抱きましたが、お聞きしてみると、教頭先生の手作りだとのこと。教職員の後押しが今回の成績につながったことを確認することができました。

学校を挙げての取組みと書きましたが、それは以下に述べる形になっています。陸上部単独の参加ではなく、まずは全校生徒に呼びかけて駅伝部を立ち上げるところから始まります。1学期の終業式で駅伝部の立ち上げについて説明をし、部員募集の呼びかけをします。その日の帰りの会の後で希望者を武道場に集めて、駅伝部が発足します。来る者は拒まずということで、希望者は全員参加することができます。今年度は男女合わせて74名が参加し、そのうちの60名近くが男子だったそうです。練習は終業式翌日からすぐに始まり、陸上部以外の人たちは夏の大会が終わった(負けた)日から参加することになります。本業のある1、2年生もいますので、夏休みの練習は早朝7時から8時までの1時間。2学期に入ってからは、部活動が終わる下校時刻からの駅伝部にだけ認められた1時間の特別練習を行ないます。秋から冬にかけては、日が短くなって下校時には真っ暗になってしまいますが、そこは全校挙げての取組みです。全教職員が分担して生徒を自宅まで送り届けることになっており、下校時の安全は保証されています。その役割には、校長先生、教頭先生もお入りになっているとのこと。

60名近くの男子の練習は、能力別に5班に分け、練習内容を別々にしているとのこと。そしてこの班は、2週間に1回のタイムトライアルで入れ替えを行なっていきます。上の班の選手は気が抜けませんし、下の班の選手には上がる楽しみがあります。全ての選手が頑張れる体制になっているのです。紀平先生のお話によると、今年度は一人の脱落者もなく、上の班の人たちは下の班の人たちの頑張りを見て一層力が入ったそうです。



グラウンド整備

こうした中で、駅伝部員には駅伝部員であるとの誇りが生まれてくるようで、それが一層練習を実のあるものに行っているとのこと。このようにして、万博駅伝の岡崎市代表に選ばれる抜きん出た選手はいなくとも、選手や走順の決定に先生が頭を悩ます粒揃いのチームが出来上がったのでした。紀平先生のお話によると今年の活躍で駅伝部に興味を持った1、2年生も多く、来年も活躍が期待できるとのことでした。更なる飛躍が期待されます。

ところで、訪問した当日は陸上部の単独の練習が行なわれておりました。その練習ぶりを見てみると、特別に全校生徒に募集をかける駅伝部の強さが普段の陸上部の練習の延長線上にあるように思われました。まずは、練習前15分ほどのグラウンド整備。トンボをかけた後に竹ぼうきで整備をするのですが、まるで大相撲で土俵を掃き清めるような丁寧

さでした。もちろん練習後も同じです。練習環境を大切にしている心掛けは、駅伝部の土台となっているように思われました。また、キャプテンがよく声を出し、それに部員が声を合わせていく姿も心地よいものでした。普段の陸上部のありようが、駅伝部の練習の中にも現れているのでしょう。それに、ドリルをして戻るときは全てjog、全くおしゃべりのない集中した様子なども、駅伝部の練習の集中度の高さを想像させるものでした。

まだ、愛知県勢の全国制覇はありません。しかし、3位まで来ているのですから、あと一歩です。グラウンド入口に掲げられている「一人一人が本気の心 日本一の陸へ」の標語どおりの頑張りとチームワークで、表彰台の一番高い所を目指してほしいものです。

(取材・文責 大西 敏功)



全国中学駅伝での表彰風景

ハードルを使っでの練習

ハードルを使っでの練習

ハードルを使っでの練習

ハードルを使っでの練習



ハードルを使っでの練習

ターゲットとなります。

本年度は、支部の選手が何度も新聞紙上で賑わしました。特に陸協広報11～12号で大きく紹介されたように、高校(インターハイ)・小学生(全国交流大会)の優勝・全国中学駅伝の3位入賞・ジュニアオリンピックでの中学生の3種目3位入賞・愛知駅伝での岡崎市の連覇と各層において最高の年となりました。この結果も、それぞれの団体の選手・監督・コーチのご努力の賜物と感謝いたします。

今後特に小・中の選手においては、底辺の拡大につながるべく陸上競技の面白さ・興味づけの指導を重視していただきたいと思います。

毎年実施している陸上教室は過去に寒い日もありましたが、本年度は天候に恵まれて順調に終了することができました。12～1月にわたって3回実施し、それぞれに600～700人の選手が参加してくれました。お忙しい中協力していただいた中京大学の青戸先生をはじめ多くのコーチ・ト

レーナーの皆様には感謝申し上げます。この陸上教室での選手の取組み方、真剣な表情などを見て、来年度の更なる活躍を確信することができました。

現在の陸上教室は、中学・高校生を対象のため、小学生の指導者より要望がありますが、参加人数・経費の問題から、小学生まで含めての実施ができないことを申し訳なく思っています。ですから、各市町村の体育協会等とタイアップして、対策を検討して行きたいと思っております。

かつて、選手の宝庫といわれた西三河支部ですが、ここ15年余り中学教員の適正配置が考慮されていない市町村が多く、5年後の全日中開催に向けて中学教員の審判員養成もさることながら、選手強化も憂慮されます。

本年度の全国レディース陸上の開催に向けて、女性審判員の養成を実施してきましたが、まだまだ不十分でありますので、今後も継続努力して行かねばならないと思っております。

(柴田 和秀)

## 東三河支部

平成20年度を振り返ってみると、支部として数多くのスケジュールをこなして来ましたが、春先からスムーズにスタートが切れたと思います。

冬・春季練習会、合宿に始まった一年間の競技会の成果をみると小学生の部では、50m 和田瑞揮・伊藤壯太（田原）、走幅跳建部歩・峰田拓実（新城）、混合4×100mR 田原（後藤、鈴木、伊藤、和田）、森下堅太（田原）、2種競技A 富田啓介（田原）100m 中野真琴（豊橋）、走幅跳鈴木千陽（新城）、2種競技A 市川実乃梨（蒲郡）が、夏・秋の県大会で優勝。男子4×100mR 田原（河辺、富田、山田、渡会）が東海大会で優勝するなど多くの小学生が、県大会優勝という目標を達成し、東三河地方の競技力向上の一翼を担う戦力ができたものと思います。

中学生では県大会、東海大会への参加選手は、43名のほりました。全国大会へは2年連続日本一に輝いた100m 鈴木祐太（本郷）、1500m 小山祐太（豊川東部）、走高跳岡田隼矢（田原東部）、400m 原捷太（豊川東部）、100m 渡辺将志（青陵）、100mH 白井奈央（豊橋南部）、山内萌（田原）の7名がいました。全国に目を向けて懸命に努力している現状をみると、心温まるものがあります。まだまだ多くの有能な子どもたちがいるものと思います。心の通じ合った指導をしていただく指導者に寄せる期待には大きなものがあります。

高校生も、ここ数年来力をつけた選手が多く育ってきました。陸上競技を志す生徒も多くなり、東海大会へは35名の選手が参加、さらに全国大会へは17名が出場しました。全国大会の入賞者は、400m 牧野武（時習館5位）、110mH 波多野良平（豊川5位）、3000m 二宮悠希乃（豊川7位）でした。また、10月には5000m 田中秀幸（豊川14.02.40）、1500m 伊澤菜々花（豊川4.21.36）、3000m 二宮悠希乃（豊川9.12.13）が県高校新記録を樹立。誠に勢いのある豊川が出現したものです。

駅伝・マラソンシーズンに入り、全国高校駅伝（京都）に県代表として、男子豊川工、女子豊川、豊川工の3チームが出場し、長年の夢であった全国優勝を豊川が手にしました。豊川市を始め東三地方の陸上ファン、選手、競技役員は優勝の喜びを共有し感激しました。

豊川の優勝を分析すると、

- 1) 選手の団結と夢に向かって走り切った努力
- 2) 選手と心の通じあった指導者の努力
- 3) 豊川高校陸上競技場の建設一校長を始めPTA、職員の理解・支援、創立記念事業へのひたむきな努力

これらが選手の快走に結びつき、日本一になったものと思います。支部の長年の努力が実を結んだものだとも思います。

さらに渥美半島駅伝、全三河駅伝大会が、100チームを越える参加を得て盛大に行なわれました。参加チームにお礼を申し上げるとともに、大会を運営する競技役員の方々の熱意の賜物とお礼申し上げます。

競技力向上のカギは冬にあり、東三地方では、市内小学校マラソン大会が多く行なわれています。市内駅伝、東三中学校駅伝、みなとシティーマラソン、とよかわシティーマラソン、スポーツ少年団駅伝、県小学生クロスカントリー、新城マラソン、三河湾健康マラソン、豊橋トリムマラソン、中日豊橋ハーフマラソンなどの大会は、心身共に健康な体作りに寄与し、競技力向上に役立っている大切な行事であ

ると認識しています。

終わりに、平成21年度に向けた支部役員の選出が1月の理事会において行なわれ、若々しい新役員が揃いました。

支部長 夏目輝久

理事長 兵藤重二

理事 小、中、高、一般、地区代表、女性の各理事を選出

会計 白井忠彦

秘書 中西征裕 白井忠彦 山本誠司

専門委員長 総務 山本誠司 競技 市川 工

審判 山本法史 記録 鈴木信弘

施設 中村昭広 強化 伊藤博之

マスターズ 杉山茂生

以上の役員の方々により平成21年度がスタートします。

成果があることを期待しています。（牧田 功）

## 専門委員会報告

### 総務委員会

#### 登録について

公認の陸上競技会等に審判員・競技者として参加するには、愛知陸協に登録し、日本陸連の登録会員になることが必要です。登録は、毎年更新するものであり、有効期間は毎年4月1日より翌年3月31日までです。愛知陸協に登録された審判員・競技者は、愛知陸協が日本陸連に会員として申請して初めてその資格を得るものです。十分理解の上、手続きを早めにするにしてください。愛知陸協から日本陸連への申請は、毎月7日までにします。なお、年度の登録申請手続きは、2009年3月1日より12月31日までに終了してください。平成20年度の登録会員数は前年度を上まわり、14,000人を越えました。また、21年度より中学生のクラブチーム登録は、一般登録申込書を使用してください。登録申請は、下記へお願いします。

#### 一般団体登録及び個人登録

名古屋	水野 隆夫	名東高
尾 張	原川 豪	美和高
西三河	山村 晃泰	刈谷高
東三河	兵藤 重二	豊橋・章南中

#### 高校生登録

名古屋北	新美 準人	菊華高
名古屋南		
尾 張	浜子 紀行	津島北高
知 多	成田 稔	東海南高
西三河	清水 文昭	碧南工高
東三河	加古 勇	豊橋商高

#### 大学生登録

全 県	愛知陸上競技協会	052-249-4363
-----	----------	--------------

#### 中学生登録

名古屋	森 剛人	愛知郡・長久手中
尾 張	長瀬 基延	江南・古知野中
西三河	細井 太郎	岡崎・城南小
東三河	小野田朋恵	豊橋・青陵中

（稲垣 裕）

## 競技・情報処理委員会

1月13日に瑞穂陸上競技場利用会議が開かれ、平成21年度について決定しました。今シーズンはサッカーJリー

グとの競合は事前に名古屋グランパスが瑞穂開催を避ける日程の配慮をしてくれ、例年に比べ少なくなりました。陸上競技大会の日程が移動するところでは変更しました。しかし、数回の競技会の終了後にはサッカーのゲームが開催されます。競技終了後、速やかな退場にご協力ください。

大会申込みについては、郵便振替で参加料等を納入し、受領証のコピーを添付用紙または申込用紙の欄に貼付することにより、現金の処理が無くなり間違いが無くなりました。今年はさらに改善します。

9月19日～21日に全日本マスターズ陸上競技大会を開催します。3日間にわたる大会でもあり、昨年度開催したレディース陸上競技大会以上に、東海地区、全国から多数の参加者が見込まれます。マスターズ大会特有の配慮が必要な大会でもあります。大会の競技運営に一人でも多くの審判員の協力をお願いし、この大会を目標に、本年度の他の大会にも出席していただき、競技運営力・競技審判技術のレベルアップをお願いします。

来年には、日本ジュニア選手権大会・日本ユース選手権大会の開催が12月の日本陸連理事会、評議員会で決定しました。この大会に向けて、地元開催県として、特に、高

校生、中学生の選手強化と、競技運営の向上に努め、素晴らしい大会を期待します。  
(外山 幸男)

## 施設・用器具委員会

全国検定員会議と全国技術役員会議が、ルール修正対応と検定技術研修を主として隔年で開催されている。今年度は2009年2月7・8日に全国検定員会議が横浜で開催され、青木検定員が参加した。現在のルールブック上の規程などの改正について、全国6ブロックに別れて検討会を実施し内容をまとめ、全体会で報告をした。本部が、これらを参考にして今後ルールブックに反映することが確認された。以下に主な内容を紹介する。

### 〈検定関係規則等の修正〉

競技規則修正に伴う対応 (2008年4月)

1: フィニッシュラインの交差部分の扱い (165条-16)

[備考] そのデザインは、フィニッシュラインのスタートラインに近い方の端から前方に2cm未満とする。

## 名岐駅伝いまむかし⑦

### 第10回大会(昭和15年) —「一般」(16)、「中学」(12)参加— 名古屋走友俱三連覇 中津商最終区で逆転し初優勝

大会当日は、2600年の紀元節に当たり、各地で様々な記念式典が盛大に挙行されたが、開会式でも宮城遙拝、戦没勇士の英霊に対する感謝並びに出征した将兵の武運長久祈願の黙祷等が行なわれた。

今回は、復路の第4区のコースが一部変更になったこともあり距離74.45キロで展開されたが、「参加者への注意」として、前回の過度の応援の反省からく応援が他チームの走路妨害になった場合、当該の所属チームを失格させることがあること>やく選手に故障が生じたとき、次走者は関門の最終走者通過10分後に出発させること>等が事前に新愛知新聞紙上で告示された。

一般の部では、岐阜市内に入るまで中学の東邦商に先行されていたものの、終始首位をキープした名走友俱A(青木、松山、村田、野村)が第3、4区走者の区間1位の好走もあり、4.39.02で三連覇を遂げる。

中学の部では、例年優勝候補に挙げられていた中津商A(長谷川、西尾、梅田、可知)が、西尾の両部で区間1位の健闘もあり、第4区を押切まで三連覇を目指して首位を走っていた東邦商を追抜き7分近い差をつけ、4.53.36で初優勝を飾る。

なお、開会式で第1回大会から10回連続出場の名走友俱の柴垣利明選手が表彰された。

2位以下の結果は次のようである。

- (一般) ②挙母トヨタ自動車 5.07.48 ③名走友俱 B 5.07.50 ④大日本紡績岐阜 ⑤岐阜稲津青年 ⑥日本車輛 ⑦日乃出組  
⑧三菱名古屋発動機 ⑨愛知時計 ⑩岐阜中津青年 ⑪知多常滑青年 ⑫三重芝浦 ⑬岐阜黒野青年 ⑭岐阜瑞浪青年  
⑮東洋フェルト ⑯一宮第三青年  
(中学) ②東邦商 5.00.19 ③西尾蚕糸 A 5.00.52 ④岐阜師範 B ⑤中津商 ⑥岐阜師範 A ⑦名古屋商 ⑧愛知一師 A  
⑨名古屋三商 ⑩岐阜師範 C ⑪名古屋二商 B ⑫愛知一師 B

### 第11回大会(昭和16年) —「一般」(21)、「中学」(11)参加— 名古屋走友俱堂々の四連覇 東邦商3回目の優勝 -1団体1チーム、4区間から6区間になる—

今大会から六区間<sup>\*)</sup>、78.2キロとなり、参加チームも団体からの参加は1チーム限りに変更された。

レースは、午前11時名古屋護国神社前を、今までで最も多い32チームの走者がスタート(写真)。晴天なれど浅春の寒風の中、一般8位、中学5位までが5時間を切る接戦を展開し、名走友俱以外のチームの順位が目まぐるしく変わり、応援団や沿道の駅伝ファンを熱狂させた。

一般の部では、名走友俱(青木、村瀬、松山、野村、近藤、柴垣)がスタート直後からトップに立ち、5人の走者が区間1位の好走を見せて独走態勢のまま4.36.52で4連覇を果たす。

中学の部では、東邦商(竹内、花井、吉田、中島、金、高村)が、1区で9位と出遅れたものの3、4区走者の区間1位の好走で4区で昨年の覇者中津商からトップを奪い、5、6区で区間1位の記録で猛追する中津商を振り切り、24秒の僅差で昨年の雪辱を果たし、4.46.59で2年ぶりの優勝を遂げる。

なお、大会役員の吉村三笠(愛知一中教諭)は、レースの「評」で<事前の注意を全く無視した応援団(自転車伴走)の過剰とも言える応援で、自他のチームの走者が妨害されることもあり、猛省を促すとともに両部のスタート時間の変更と伴走者の責任者を定め規定を厳守させることの必要性>を提起している。

2位以下の結果は次のようである。

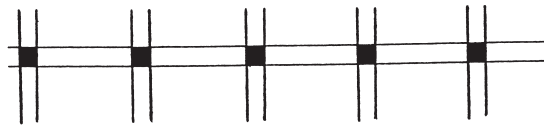
- (一般) ②岐阜高農 4.44.01 ③岐阜黒野青年 4.46.35 ④愛知時計 ⑤岐阜稲津青年 ⑥岐阜薬専 ⑦刈谷豊田織機 ⑧瀬戸市陸協  
⑨日本車輛 ⑩名古屋日共俱 ⑪三菱航空 ⑫トヨタ自動車 ⑬岐阜瑞浪青年 ⑭三重平田紡 ⑮三菱発動 ⑯刈谷豊田眞鍋  
⑰名鉄局名古屋工場 ⑱岐阜宮前青年 ⑲名古屋山口青年 ⑳一宮第三青年 ㉑名古屋上宿青年  
(中学) ②中津商 4.47.23 ③西尾蚕糸 4.53.28 ④名古屋三商 ⑤中京商 ⑥愛知一中 ⑦愛知一師 ⑧名古屋機械 ⑨名古屋商  
⑩名古屋二商 ⑪東海中

\*1) 1区(名古屋護国神社前~本社前~名駅前~菊井町~新川橋) 9.6キロ、2区(新川橋~一宮眞清田神社前) 13.5キロ、3区(一宮眞清田神社前~岐阜県庁前) 17.1キロ、4区(3区の逆走) 17.1キロ、5区(一宮眞清田神社前~五条橋) 11.9キロ、6区(五条橋~菊井町~明道橋~本社前) 9キロ

(西垣 完彦)



護国神社前をスタートする  
32チームの精鋭



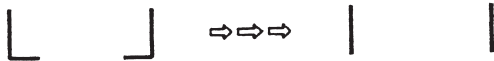
現状のまま 5cm とする。

2：障害物競走水濠の深さの扱い（169条-6）

[注-IAAF] 水濠のトラック表面レベルからの水深は 700mm から 500mm までとする。水濠のスロープは図で示されているように、維持されるものとする。新しく建設される水濠は、より浅く建造されることを推奨する。  
現状のまま 700mm で良い。

3：やり投助走路の扱い

- ◆助走路の区画線は実線にする。
- ◆スターティングラインから 4m の白線上に 5cm 角の黄色のマーキングをする。5cm 角は 4m に含まれない。(187条-17b)
- ◆助走路の長さは最短 30m とする。条件が許せば、助走路は 33m500 以上が望ましい。(187条-9) 36m500 の規定はなくなったが 2m500 の離間距離は確保する。現在のエンドマークは助走路幅 4m の表示のみにする。走路にエンドマークが入っているところは走路外に出す。



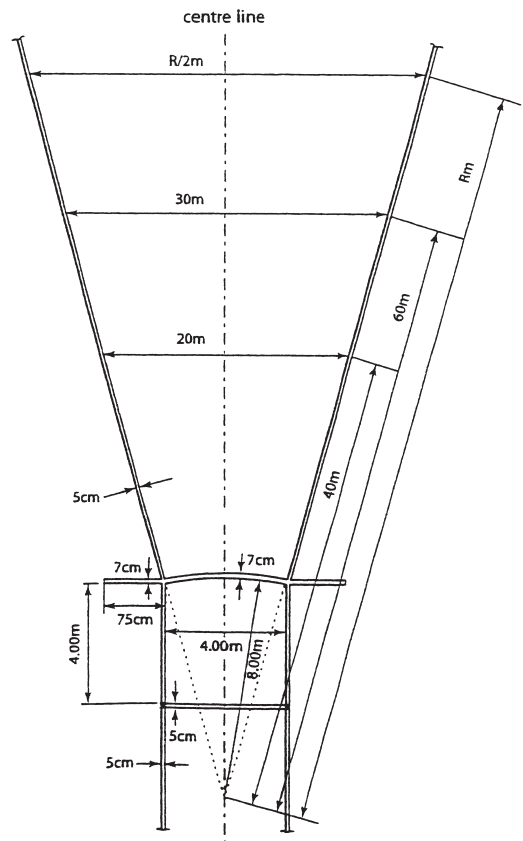
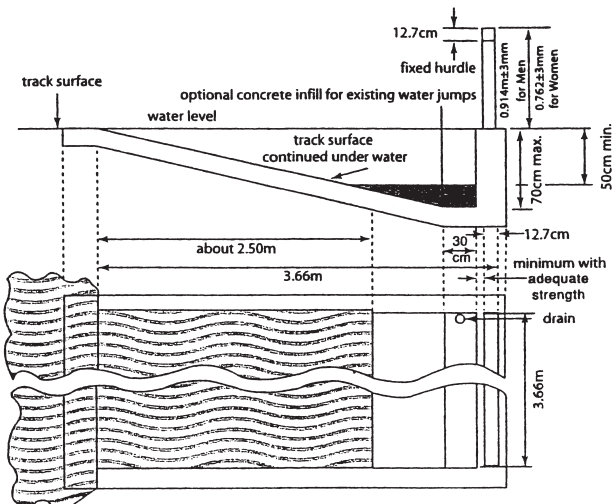
4：助走路の最大許容傾斜度

[備考] 助走路の最後の 15m および踏切付近における両支柱と 182 条-3 に明記した最小半径の間の半円部の最大許容傾斜度は、どの半径に沿っても 250 分の 1 を超えてはならない。(走高跳 182 条-4)

[備考] 助走路の最大許容傾斜度は、幅で 100 分の 1、助走の方向でボックス先端から 40m までの下方傾斜度は 1000 分の 1 を超えてはならない。(棒高跳 183 条-7)

[備考] 助走路の最大許容傾斜度は、幅で 100 分の 1、助走の方向で踏切線から 40m までの下方傾斜度は 1000 分の 1 を超えてはならない。(長さの跳躍 184 条-3)

[備考] 助走路の最大許容傾斜度は、幅で 100 分の 1 とし、助走方向でスターティングラインまでの 20m の下方傾斜度は 1000 分の 1 を超えてはならない。(やり投 187 条-9)



5：その他の確認

- ◆4×200m リレーはタイルのみとし、ラインは入れない。
- ◆スエーデンリレーの第 2 走者から第 3 走者への SL タイルは不要。

〈検討事項〉

- 1 第 1 種・第 2 種公認陸上競技場の基本仕様（ルールブック P. 80 ~ 94）
  - ①舗装材の主競技場と補助競技場と同一となったから、同一の基準を作る。
  - ②サッカーがいう芝生の長さ 107m×71m は認めるか（認めない 106m を守る）。球技の国際試合（日本代表としての試合）を行なう競技場のみ、延長最大とする。  
\* A 代表の試合・U23 の日本代表の試合・FIFA クラブワールドカップの試合  
\* J リーグを含め、その他の試合は対象としない。
  - ③「パネルの高さは当分の間 5m500, 5m とする」を安全面を第 1 に考えて、新ルールを適用してほしい。
- 2 公認陸上競技場及び長距離競走路ならびに競歩路規程（ルールブック P. 95 ~ 97）
  - ①「開催できる競技会の種別の基準」の見直し
  - ②レーン、助走路幅の取扱い（第 160 条-4）  
1m220 (2004.1.1 以降建造) → 1m250 (日本の現状維持の方向で国際陸連に提案したい)
  - ③第 1 種競技場におけるクラス 1 又は 2 の義務づけは、競技会開催を必要とする場所に限定したい。
- 3 陸上競技場公認に関する細則（ルールブック P. 98 ~ 111）
  - ①第 3 種が全天候舗装になったことによる数量の見直しを。(第 18 条の見直し)
  - ②第 3 種に写真判定装置の義務づけを。(役所行政側としては予算が取りやすい)

→競技会開催競技場に義務づけの方向

- ③第3種のハードルの台数を80台としたい。
- ④全天候舗装のウレタンとアスコンの部分的剥離の発見と対処方法を検討する。
- ⑤第3種もインフィールドの人工芝を検討してほしい。  
(投てき物の落下域が計測可能な物を研究されている)
- ⑥インフィールド内天然芝生の高さについては、半円部分の高さより15cm程度高くなったら改修を指導する。

#### 4 長距離競走路ならびに競歩路公認に関する細則(ルールブックP.119～120)

- ①自転車計測員を、検定員・技術役員以外からも選出できるようにしてほしい。(自転車に乗ることが得意な人が適任である)
- ②陸連指定テープが製造できなくなったので、今後光波計測を検討する。

#### 〈今後の検定予定〉

- ①豊橋市営陸上競技場付設ハーフマラソン検定(2/28～3/1)  
福島・久保田・桑原・青木
- ②第1種瑞穂公園陸上競技場検定(3/5～6)  
鈴木・青木・平川
- ③第3種県一宮総合運動場検定(3/28～29)  
鈴木・青木・平川
- ④次の教育委員会体育市民課長が熱田高校に来校され相談を受ける。
  - ・第3種豊川陸上競技場の新設(写真判定装置の設置等)(2/17)
  - ・第3種ウェーブスタジアム刈谷の継続(インフィールド内天然芝生の高さ等)(2/20) (青木 実)

### 審判委員会

平成20年度も各地区の審判伝達講習会を最後に無事終

りました。各競技会の審判業務にご協力いただき感謝しています。

平成21年度は、9月に全日本マスターズ大会を控えています。今後の競技会で全国大会を意識した審判業務に努め、審判技術の向上を図りたいと思います。

すでに、平成21年度の審判出席調査が始まりました。回答率が少しずつ向上してきましたが、まだまだ支部によりばらつきがあります。あくまでも予定ですから、はがきを出す段階での出欠を記入してください。重ねてお願いをしますが、住所等変更がありましたら、競技会の時や回答はがきでお知らせください。

どこの県の陸協も、若い審判員や女性の審判員が少なく、高齢化が進んでいます。愛知も例外ではなく、特に女性審判員が少なく、女性競技者の対応に困ることがあります。年間2回行なわれるB級審判資格取得講習会に積極的に出席していただき、若い審判員や女性審判員を増やして、競技会の活性化を図りたいと思います。知り合いの方や教え子に声をかけていただき、多くの方が我々の仲間になることを願っています。

平成21年度は、新たに45名の方が公認審判員の仲間入りをします。ご指導をよろしくお願いします。

第1回のB級審判資格取得講習会を、東海学連と共同で中京大学(八事校舎)にて、5月31日(日)に行ないます。第2回を11月8日(日)は、日本ガイシアリーナで予定しています。(榊原 茂)

### 強化委員会

平成20年度を振り返って

強化委員会各種行事に対して関係の方々にはいつも多大なご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

2008年度の強化委員会派遣行事である国体、都道府県

## クラブ紹介⑥ ティービーエイシー TPAC

### 『市民マラソンから、トラック・駅伝・国際マラソンまで幅広く』

TPACは1980年、トヨタ自動車高岡工場のランニング仲間チームを発足した。TPACの意味は、T=高岡、P=プラント(工場)A=アスレチック、C=クラブの略です。当初は工場の仲間が発足したチームだったが、トヨタの他の工場はもちろん、他の会社や自営業、公務員、学生など18歳から60歳の様々なメンバーが在籍し現在では、50人近くのメンバーで構成されています。

試合は春から秋にかけてトラックレース、秋から冬に掛けては、駅伝、各種ロードレースを目標に練習を重ねています。

交代勤務の人が多いため、平日は午前と午後の2回に分け三好池や三好町グラウンドを使い、午前11時から午後5時過ぎから集まったメンバーで行なっています。土・日はトヨタスポーツセンターや三好池を使い、インターバルやペース走、走り込みなど、そのシーズンに合わせて練習を行なっています。

チームとしての最大の目標は、毎年2月に行なわれる中部地区最大の駅伝である『名岐駅伝で10位入賞する』ことと『クラブチームNo.1』を掲げています。過去には、10位と胸の差で11位になった経験もあり、毎年他のクラブチームと名勝負を繰り返しています。

その他、渥美半島駅伝、中仙道駅伝にも出場し、上位入賞を果たしています。トラックレースで自己ベストを狙う人、市民マラソンで上位入賞する人、社内駅伝に燃えている人、みんな目標を持って頑張っています。

過去には、びわ湖毎日マラソンや福岡国際マラソン、東京国際マラソンなどに出場する選手も数多くいましたが、現在はチームのメンバーが若返ったため、出場選手が減りました。これからの選手にも再び大舞台のレースでの活躍を期待しています。

普段から練習も一緒に行なうことが多いため、選手同士の息もピッタリ!

基本は走ることが大好き、強くなりたい、そんなメンバーの集まりでチームのモチベーションも高いです。

クラブは今年、30周年を迎え、ますます勢いづいています。(磯部 敏満)



昨年の渥美半島駅伝(4位)



今年の名岐駅伝にて(18位)

駅伝の結果が期待に添えなかった点を反省しています。

全国高校女子駅伝での優勝、全国高校総体では3名の優勝選手を輩出するなど、本県の競技力の高さを対外的に示したシーズンでしたが、県代表として総合力を問われる派遣大会では、力不足を露呈してしまいました。

結果を分析して突き詰めていくと、成年選手の壁に突き当たります。国体種目と駅伝と一括に評価することは、些か乱暴ですが、いくつか共通する問題点が見られます。その一つが、県を代表するトップ選手の大会不出場であります。不出場の理由は怪我である場合と大会調整の不一致による辞退に分類されます。国体、都道府県駅伝が年間スケジュールに入っていない場合、出場要請できないケースが主たる要因となります。さらに所属チームの監督の意向や仮に出場を受諾しても条件付であるケースが多いようです。今年度の場合、さらに故障による選手交代が致命傷となりました。

結論から申しますと、選手育成の方向性を考えなければならぬ時期に来ていると思います。特に国体種目では、成年女子選手が育っていません。高校卒業後の女子選手が、全国クラスの選手として活躍できていないことが明白であります。これらの現状を多角的に分析し、実績を上げている県や所属チームの指導を研究することで、女子選手指導の方向性を考慮する必要性を感じています。

多くの指導者の尽力で、陸上教室を核にした普及行事は盛況の様相を呈しております。さらに近年はジュニアのクラブチームから輩出された選手が、県代表になるケースも目立ってきました。これらの普及、育成から巣立った選手の受け皿となる高校での指導が最重要であると考えます。

一方、本年度のジュニアオリンピックでの本県選手の活躍には目覚ましいものがありました。また、全国中学選手権大会の出場数も伸びています。

来年度の課題として、一つは各支部、中体連、高体連、学連、実業団など関係する諸団体との連携をより深め、陸上競技者がより多く、より競技力が向上するような取組んでいきたいと思えます。もう一つは、強化委員会の組織編成の整備を進める方策を考えていきます。また、こうした諸施策を下支えする財政基盤の確立にも着手しなければならないと、常々方策を練っています。

多くの皆様からのご支援を頂きながら、来年度も様々な取組みを進めていきますので、一層のご指導、ご協力をお願いいたします。

(北村 肇)

## 記録委員会

記録は暦年(1月～12月)で整理します。各大会ごとにチェック確認し、日本陸連へ公認申請をして受理されて初めて公認記録として認められます。

競技会ごとに整理していた記録を、12月に入ると再チェックします。リザルトの保管してある物置を日に何度記録等の確認のために出入りしたことか。日本陸連の記録集(日本・高校・中学の各部門100傑)・高校年鑑の資料の提供を優先し、それぞれの機関へ報告しています。次に愛知陸協の10傑表の作成に入ります。新しく塗り替えられた記録を修正、訂正を繰り返しながら記録集の原稿を印刷。さらにもう一度誤字脱字等のチェックをし、平均記録を入力印刷して2月中旬に印刷所へ発送。3月1日には各支部の登録担当者を通して加盟団体へ配布しました。以上のように何度も念には念を入れてチェックをしていますが、それ

でもミス(収集洩れ)が無かったかと記録集ができあがった今も心配しています。

◎21年度から記録の取り扱いに変更がありましたので報告します。

○中・高校生の2重登録の関係からクラブ等の所属で参加した競技者は学年の欄に中学生「J」・高校生は「H」を付して学年を記入する。

(例) 中学2年…J2 高校3年…H3

○ハードル種目

ハードルの高さ、インターバルの記入

(例) 100mYH…高さ0.76m インターバル8.5mは100mYH(0.76m・8.5m)とプログラム、リザルトに記載。

◎競技会の記録の送付書類(申請用)

プログラム…支部主催競技会 6部

(内1部は、訂正プログラム)

愛知陸協主催競技会 9部

(内1部は、訂正プログラム)

成績一覧表(リザルト)…支部主催 6部

愛知陸協主催競技会 9部

(トラック・フィールドとも、予選、準決勝、決勝の記録を記載した一覧表を添付。風力の関係する種目には必ず風力を記入。ハードルには高さの記入。中学・高校・大学生には学年の記入)

フィールド記録表…2部(跳躍、投てき種目について全試技を記載した記録表を添付。走幅跳・三段跳には風力の記入。投てきには重さの記入)

気象状況表…1部(競技会中の1時間ごとの気象状況を記載した記録用紙)

詳細については、各支部へ「記録申請書類明細」を送付しますのでそれに従ってください。(岡田 武彦)

## 女性委員会

平成20年度を振り返って

平成20年度の女性委員会は、第26回レディース陸上競技大会の運営を通して様々な活動をしました。この大会では、愛知陸協で実行委員会を立ち上げており、女性も各委員会のメンバーに入っていました。しかし、委員会の業務だけでなく、自分たちでできることは何でもやろうという気持ちで臨みました。平素は大会当日の審判のみで、言われた仕事だけを行っていた女性が、会議に出席し発言するようになりました。さらに、他県の大会に視察に行き、愛知との違いを実感することで、少しずつ意識が変わっていきました。そして、審判長や各部署の主任・副主任の立場で大会運営を行ないました。また、選手や顧問の先生方に大会への参加を呼びかけた結果、多数の選手が参加してくれました。

女性審判の勧誘、プログラム協賛広告集め、表彰の副賞(花束)提供の交渉、看板作成、掲示物作成、支給物袋詰め、IDカードの紐通し、ピンクリボンシールの作製、参加申込受付、データ打込み、プログラム編成、他県より派遣の審判員の取りまとめ、クリニックの取りまとめと報告書の作成、各種申請、報告等を行いました。これらの活動を通して大会を開催するには、どのような作業をしなければならないかを理解していきました。また、女性らしいきめ細かなアイデア(大会の各部屋の表示・カメラ撮影エリアの設置等々)が多く生まれ、日本陸連や他県の参加者か



らも好評でした。

女性委員会は、第26回レディース陸上競技大会の運営を経験することで、ささやかな自信とやる気を得ることができました。次年度は、経験を積むことの重要性に留意し、積極的に愛知陸上競技協会の運営に参加していきたいと考えています。  
(脇田 千鶴)

年誌資料・広報委員会

皆さん方の絶大なるご支援とご協力により、平成20年度を終えることができました。この一年間、原稿をお寄せいただきました皆さん方に、深く感謝申し上げます。委員会としては、少しでも読んでいただける広報誌を目指し、取組んできました。情報発信をすることにより、読者の皆さんが、愛知陸上競技協会の活動の様子をより知っていただくことができれば、その役割を一つ果たしたことになると思います。

9号から始まったこの一年。内容はいかがだったでしょうか。今年度は、新たに「学校紹介」の欄を設け、活躍している陸上競技部(駅伝部)3校(豊川高・岡崎城西高・六ツ美北中)の様子を皆さん方に伝えようと、学校まで足を運び取材をしました。これからもよりよい広報誌づくりを考えていきたいと思っています。ご意見ご要望をお待ちしています。

下記は10～13号の概要です。

平成20年度に発行した「愛知陸協広報」10～13号

号数	発行月日 (ページ数)	編集内容
「愛知陸協広報」 10号	6/27 (p12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長及び理事長のことは(20年度を迎えて)</li> <li>4支部の活動状況及び今年度の活動方針</li> <li>専門委員会報告及び今年度の活動方針</li> <li>関係団体の活動状況</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>競技会報告(中日豊橋マラソン、国体選考春季選抜、県高校総体、全日本マスターズ駅伝)</li> <li>理事会等会議報告</li> <li>愛知陸協19年度収支決算報告</li> <li>その他                         <ul style="list-style-type: none"> <li>名岐駅伝いまむかし⑤</li> <li>ホープさん④ 松井将器(下山中)</li> <li>クラブ紹介④ JAC大府</li> </ul> </li> </ul>
「愛知陸協広報」 11号	9/30 (p18)	インターハイで栄冠を手に(優勝者中村明彦・今井沙緒里・河澄真子) <ul style="list-style-type: none"> <li>理事長のことは(上半期を振り返って)</li> <li>4支部の活動状況</li> <li>専門委員会報告</li> <li>関係団体の活動状況</li> <li>競技会報告(県小学生リレー・東海混成兼愛知混成・県レディース・県選手権・県中通信・東海・全国高校総体・全国高校定通他)</li> <li>理事会等会議報告</li> <li>大分国体選手団一覧表</li> <li>慶弔報告(協会会長表彰:外山幸男、今泉良三 協会特別表彰:内藤真人、中田有紀 東海陸協協会賞:江藤照雄、平林栄治、西垣完彦、高木章治、山田孟司、對木秀之、井上和孝、田嶋利夫、安藤昌男 訃報:森憲治、西村範雄)</li> <li>その他                         <ul style="list-style-type: none"> <li>名岐駅伝いまむかし⑥</li> <li>ホープさん⑤ 山田涼馬(AC一宮)</li> <li>クラブ紹介⑤ 安城ジュニア陸上クラブ</li> <li>学校紹介① 豊川高校</li> </ul> </li> </ul>
「愛知陸協広報」 12号	1/1 (p16)	女性アスリート1475名が名古屋に集う <ul style="list-style-type: none"> <li>理事長のことは&lt;新年の抱負&gt;</li> <li>4支部の活動状況</li> <li>専門委員会報告</li> <li>関係団体の活動状況</li> </ul>

ホープさん⑥

飯田 美咲(弥富中3年)

小学校時代は、小学校の代表としてブロックの大会で優勝した以外、これといった実績はなかった。しかし、弥富中学校に入学し、地元の栄南小学校からただ一人、ハードルを続けたくて陸上部の門をたたいた。

最初の夏の大会は、1年生ながら200mで県総体出場を果たした。県ジュニアオリンピックでは走幅跳に出場、惜しくも2位となり、全国ジュニアオリンピックへの出場を逃した。ハードルを始めたのは、1年生の冬からである。めざす種目をハードルに絞ることは、本人のたつての希望だった。

2年生秋の全国ジュニアオリンピックへの出場が、彼女にとってのターニング・ポイントになったと思われる。全国レベルの選手との交流が良い刺激になったことは、彼女の冬季練習に打ち込む姿勢に現れた。走り込みも、男子に混じってどんどん行なった。高校生の練習や国体候補合宿にも参加させていただいた。そこでは、コーチの先生方からきめ細かい技術指導を受けた。

3年生は、海部地区大会、西尾張地区大会と立て続けに大会新記録を出し、順調に滑り出した。勢いに乗って県総体でも14秒44をたたき出し、14年ぶりに県記録を更新した。続けて東海総体3位、全国大会8位入賞も果たした。秋には、大分で開かれた国民総合体育大会にも出場した。

ふと気がつくと、本当に華奢だった身体面も、ひ弱に感じられた精神面も、たくましく感じられるようになった。今は、春からの高校での競技生活に意欲を漲らせている。これからも、両親をはじめ、陸協の方々、先生方、部活の仲間など、これまで育ててくださったさまざまな人々たちへの感謝の気持ちを忘れず、応援していただけるような選手になってほしいと心から願っている。(高橋 泰彦)



陸上練習会



20年度 西尾張大会(飯田選手後列右から2番目)

飯田美咲からのメッセージ

中学校時代は、練習環境や先生、仲間にも恵まれました。常に挑戦者という立場だったので、あまり緊張せず試合に臨めたのがよかったのだと思います。(運も良かったのかな?) 高校の練習は厳しいと思いますが、良い成績が残せるよう頑張ります!!

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会報告 (国体、全国スポレク、レディース、愛知駅伝、名古屋ハーフ他)</li> <li>・競技会参戦記 (大分国体)</li> <li>・慶弔報告 (特別賞：室伏広治、室伏重信 秩父宮章：村瀬雄一郎、柴田和秀 平沼亮三章：北村肇 河野謙三章：伊藤勝男 河野一郎章：船坂実来 春日弘章：勝俣章博 訃報：河野正晴、宮田元和)</li> <li>・その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホープさん⑤ 森 佑紀那 (長良中)</li> <li>・クラブ紹介⑤ 田原陸上クラブ</li> <li>・学校紹介② 岡崎城西高校</li> </ul> </li> </ul>
<p>「愛知陸協広報」 13号</p>	<p>3/26 (p16)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長のことば (平成20年度を振り返って)</li> <li>・4支部の活動報告</li> <li>・専門委員会報告</li> <li>・関係団体の活動報告</li> <li>・競技会報告 (全国高校駅伝、大山ハーフ、女子マラソン他)</li> <li>・理事会等会議報告</li> <li>・慶弔報告 (県体協表彰 特別優秀選手：室伏広治 体育功労者：佐藤友行、近藤弘、小森好治、川浪泰郎、岡田達幸、櫻井一美 優秀選手 室伏広治、内藤真人、岩水嘉孝、中村明彦、栗津良介、室伏由佳、中田有紀、今井沙緒里、河澄真子、鈴木祐太)</li> <li>・その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・名岐駅伝いまむかし⑦</li> <li>・ホープさん⑥ 飯田美咲 (弥富中)</li> <li>・クラブ紹介⑥ TPAC</li> <li>・学校紹介③ 六ツ美北中学校</li> </ul> </li> </ul>

- 12月 愛知県小学生長距離走記録会  
団体の部で岡崎 JAC が2年連続優勝、“日清食品カップ”全国小学生クロスカントリーリレー研修大会への出場を決めた。
- 2月 小学生クラブチーム指導者実技講習会・連絡協議会  
①講義と実技 [発育・発達から考えるジュニア期のトレーニング] 新しい理論・分野の講義と実習で有意義であった。  
指導 日本コアコンディショニング協会理事長 吉武永賀氏  
②検討・連絡 友の会費納入方法 全国交流大会 指導者中央研修会報告 自分の大事な指導法紹介  
③参加者 80人 (指導者70人 保護者10人)

競技会の成績

12月 愛知県小学生長距離走記録会

1500m×6人=9000mの合計タイム

優勝	岡崎 JAC A	30.11.32
2位	田原陸上クラブ A	30.29.38
3位	豊橋陸上クラブ A	30.52.77
4位	田原陸上クラブ B	31.50.51
5位	TFC 半田 A	31.58.89
6位	豊橋陸上クラブ B	32.33.30
7位	JAC とよあけ A	32.40.35
8位	へきなん陸上クラブ A	32.43.40

(大矢 新吾 村上 観治)

中小体連

平成20年度を振り返って



がんばる中学生

20年度は全国規模での大会において大変に活躍が目立った1年でした。

鈴木祐太選手 (本郷中2年) は、昨年度に続きジュニアオリンピック 100m で優勝 (10.99)

し、見事2年連続で日本一に輝きました。3年生となる4月からのシーズンでは、全日中・ジュニアオリンピックともに活躍が楽しみです。また、石黒大介選手 (今伊勢中3年 1500m 4.03.47: 県中学新 全日中5位)、松井将器選手 (下山中3年 3000m 8.33.64 ジュニアオリンピック4位) の2人は近年活躍のめざましい県勢中長距離部門においても特筆すべき好記録で全国大会上位入賞を果たしました。3年生では他にも糟谷隆明選手 (守山西中 走高跳 1m90 全日中2位) や山田涼馬選手 (浅井中 400m 49.66 全日中4位)、高塚裕子選手 (保見中 ジャベリックスロー 50m97 ジュニアオリンピック3位) など全国大会で入賞を果たした選手が10名もいるという素晴らしい結果を残すことができました。

次世代となる2年生にも鈴木祐太選手の他に谷 優奈選手 (保見中 100mH 14.48 ジュニアオリンピック3位) など活躍が期待される有望な選手たちがいます。ジュニアオリンピックでは、3位以内入賞者5名、4~8位入賞者4名という3年生を凌ぐ好成績を残しました。

活躍した選手の多くは、小学生の段階からクラブチームに所属して陸上競技に取り組んでいた選手が多く、「小学生友の会」で熱心に指導していただいている先生方の力が大変に大きなものだと感じています。今以上に小学校と中学校の連携を深めていくことが、更に競技力のレベルアップ

関係団体報告

小学生友の会

小学生友の会の活動 平成20年度のまとめ

- 3月 “日清食品カップ”全国小学生クロスカントリーリレー研修大会  
岡崎 JAC が初出場し、第10位と健闘した。
- 7月 愛知県小学生リレー競走大会  
20種目に熱戦を展開し、大会記録を4種目、愛知県友の会記録を2種目更新した。  
60個のメダルを27団体で、20種目の優勝を13団体で分け合った。
- 7月 “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会  
14種目に出場し、優勝1種目を含む4種目に入賞した。  
愛知県友の会記録を2種目更新した。
- 9月 東海小学生リレー競走大会  
男女混合・男子・女子の4×100mRに3チームずつ9チームが出場し、8チームが決勝に進出した。1チーム (男子4×100mR) が優勝した。
- 11月 愛知県小学生陸上競技選手権大会  
32種目に熱戦を展開し、愛知県友の会記録・大会記録を2種目更新した。  
96個のメダルを34団体で、32種目の優勝を22団体で分け合った。

プにつながっていくと思います。

昨年末、山口県で行なわれた第16回全国中学校駅伝では、六ツ美北中が第5回大会の竜海中(4位)を上回る県勢初の3位入賞という快挙を成し遂げました。なかでも、5区を走った西野智貴選手(3年)は区間賞を獲得する力走をみせました。他にも宮田俊佑選手(3区)・中根一貴選手(6区)も上位の区間記録でタスキをつなぎ3位入賞に貢献しました。(大会結果は別ページ参照)

以上のように大変に収穫あるシーズンであった20年度でした。21年度も今年度以上の活躍ができるようにご支援をよろしく願います。(鈴木 秀樹)

## 高体連

### 高体連陸上競技部の活動について

20年度は、全国高校総体に100名を超える選手が参加し、なかでも男子八種競技で、岡崎城西の中村明彦選手が全国高校新記録のすばらしい成績で、優勝を飾ったのをはじめ、多くの選手が優勝・入賞しました。また、全国高校駅伝では、豊川高校の女子チームが創部3年目で見事に優勝するという輝かしい成績を上げてくれました。

21年度の全国高校総体は、「君が今歴史の新たなページを飾る」のスローガンのもと、古都奈良で開催されます。ここでもまた、多くの愛知県の選手が活躍してくれるものと期待しております。

21年度の競技会日程がほぼまとまりましたが、そのうち高体連関係だけをピックアップしてお知らせします。(県大会以上掲載)

#### ○高校総体関係

- ・県総体 5月22日(金)・23日(土)・24日(日) 瑞穂
- ・東海総体 6月19日(金)・20日(土)・21日(日) 三重県(伊勢市)
- ・全国総体 7月29日(火)～8月2日(土) 奈良市
- 新人戦関係
- ・県新人 9月26日(土)・27日(日) 瑞穂
- ・東海新人 10月24日(土)・25日(日) 瑞穂
- 駅伝関係
- ・県駅伝 11月1日(日) 知多市
- ・東海駅伝 11月22日(日) 三重県(松阪市)
- ・全国駅伝 12月20日(日) 京都市

※21年度は、東海高校新人大大会が4年に1回の持ち回りにより、愛知県開催となります。この大会は、翌年に開催される東海高校総体の前哨戦の意味合いがあり、大会運営もミスのないように、万全の体制で行なわなければなりません。役員及び補助員の委嘱でご無理をお願いすることになります。ご理解ご協力よろしく願います。

(大島 修)

## 高体連定通部

### 平成20年度を振り返って

20年度は参加選手の減少が少なからず影響した。県定通総体では男子が減少し、その中に全国大会で入賞をねらえる選手も含まれ、そのことが愛知にとっては大きな痛手となった。エース不在でリレーメンバーを選抜することにもなった。その結果、苦戦を強いられ、ここ3年間、男女総合・男子総合で3位の成績を取ってきたが、上位の座を譲ることとなった。一方、女子は少数ではあるが全国でも入賞できるメンバーとなった。その結果、平成15年の優勝以来、女子総合3位・トラック準優勝の活躍であった。

秋季大会では、来年度全国で活躍できる選手が記録を伸ばしてきている。特に3000mSCで大会新記録を出した里

村隆幸(科技高刈谷)は優勝に最も近い選手である。

1月31日東京・日本青年館において全国代表者会議が開催され、来年度の大会要項が決まった。定通大会は毎年国立競技場で行なわれているが、補助金の削減などで最も厳しい時を迎えている。しかし、全国で学ぶ定通の生徒に「晴れの舞台」を用意すべく努力を大会関係者は今後も続けていくことが誓われた。愛知においても参加選手の減少は見られるが、一人でも多くの選手を育て、晴れの舞台に連れていく努力をしていきたい。(松橋 政人)

## 学連

### 東海学生男・女駅伝競走大会について

2008年度の東海学生陸上競技連盟主催事業は、12月7日(日)に開催された第70回東海学生駅伝競走大会・第2回東海学生女子駅伝競走大会をもって終了した。第70回東海学生駅伝競走大会は、今年度で70回目の記念すべき大会であった。社会情勢や交通事情の変化に伴い幾度かコースの変更があったものの、ここまで続いている大会の開催、コース設定、運営経費等について、これまでの経緯を振り返ってみる。

第12回オリンピックが1940年、東京で開催されることが決まっていた(戦局の拡大で1938年に返上)。1937年をオリンピック制覇の第1年と位置づけ、「不屈の精神と絶え間ない練習によって、全東海陸上界に“オリンピックに備えよ”のゲキを飛ばそう」と東海学生陸上競技連盟が、白亜の新ビルを建設したばかりの朝日新聞社に東海学生駅伝の共催を申し入れた。それが快諾され、伊勢・熱田両神宮を結ぶ7区間の「東海学生駅伝競走」を催すことになった。

☆第1回大会は、1937年1月10日暁闇の宇治橋前を9校の第1走者がスタート。133km離れた熱田神宮までの7区間で、記念すべき大会の幕開けであった。第7回大会(1943年)まで戦局の激化の中も大会は続いたが、翌1944～1946年までの3年間は、第2次世界大戦の影響で、中止のやむなきに至った。戦争もようやく終わり、1947年2月に第8回大会が復活した。しかし、戦火が収まって復活した伊勢・熱田コースの大会は最終を迎えた。その後このコースは、1970年に始まった全日本大学駅伝対校選手権大会のコースとして再登場した。

☆第9～21回大会まで(13年間) 新コースの名古屋一岐阜一犬山一名古屋間になり、若干の距離・区間の変化(11回大会のみ桑名一大垣一岐阜一名古屋)はあったものの、順調に続いた。第16回大会以降私学勢の活躍が目立ち始め、中京大学の37連勝の快進撃が続く。

☆第22回大会(1961年)以降の49年間 第22回大会から交通量が少なく、山道や伊勢・三河湾沿いに磯の香りも漂う知多半島の新コース(8区間、68.2km)となった。これ以降区間、内容の修正を加えながら、第67回大会からは逆走コースにして、今回記念すべき第70回大会を迎えるに至った。この間特筆すべきは、第28回大会で厳禁の伴走車を使った2大学が失格となったことである。

半世紀以上の伝統を持つこの大会であるが、大会存続に関しては、紆余曲折があった。特に大きな危機は、第62回をもって朝日新聞社の後援が打ち切られた時であった。今もこの大会が続いているのは、これだけの伝統ある大会を無くするのは忍びがたいと共催を引き受けてくださった中日新聞社の御厚意のおかげである。

☆第1回女子駅伝大会(2007年) 知多半島半周(26.6km)が諸先輩の熱意が結実して実現し、今回で2回目を迎えることができた。

ここで、今年度の駅伝大会の反省と今後の展望を書き添えたい。37連勝と中京大学の独壇場となった時期と現在とを比べると多少事情は異なるが、ここで問題にしたいのは、ただ単なる勝者への賛辞ではなく、いたずらに連勝を許した周囲の態勢、すなわち他大学の選手たちに「中京大学には勝てない」とのあきらめの心境があったのではないかということである。この状況は今も見受けられる。スポーツを志す目的の一つに「己を鍛え、己に勝つ」というのがある。その趣旨から言えば、勝負ばかりにこだわってはいけないが、やはり技を競う以上、より高さを求めるのがスポーツマンの常識であろう。そのためには人一倍の鍛練を重ね、闘争心を盛り立て、総力を挙げて相手にぶつかなければいけない。それなのに、最初から優勝ではなく、「全日本大学駅伝出場枠」の2位を狙うのは、スポーツの本質に反し、競技の理想を忘れたもの(17回大会当時に似ている)だと言えよう。全日本大学駅伝での東海勢の不振の原因としては、地元の有望選手が関東の有名大学へ進学し、素質ある選手が集まりにくい状況がある。選手集めに苦勞している監督さんを見聞きしているだけに、同情を禁じ得ない。しかし「好素材がないから」と言ってばかりでは、発展はない。何も駅伝に限ったことではない。最近のスポーツ界には、この傾向が強いように思われる。そうした意味からも、トラック&フィールドの選手たちにも一大奮起を期待したい。

最後に、この記念すべき第70回大会を迎えるにあたり、これまで多くの陸上関係者、半田・常滑両警察の皆様方、地元住民の皆様方、共催・後援をいただきました朝日新聞社・中日新聞社をはじめ関係各者に衷心より感謝いたします。(安藤 好郎)

## 実業団

中部実業団連盟は内規により、4月より会長社がスズキ(株)からNTN(株)に変更になります。鈴木修会長はじめ筒井昭理事長および渡辺辰彦事務局長には様々な課題対応に奔走され、この厳しい時期での連盟運営に対し本当にお疲れ様でした。

平成21年度の実業団関係の主な競技会は下記の通りです。

- ①第53回 中部実業団対抗陸上競技大会  
5月16日(土)～17日(日) 岐阜長良川競技場
- ②第57回 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会  
9月25日(金)～27日(日) 岡山
- ③第49回 実業団・学生対抗陸上競技大会  
10月17日(土) 平塚
- ④第10回 中部実業団陸上競技選手権大会  
10月12日(月・祝) 多治見
- ⑤中部実業団対抗女子駅伝競走大会  
10月18日(日) 岐阜県
- ⑥第49回 中部実業団対抗駅伝競走大会  
11月8日(日) 下呂市
- ⑦第29回 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会  
12月13日(日) 岐阜県
- ⑧第54回 全日本実業団対抗駅伝競走大会  
H22年1月1日(金・祝) 群馬県

## ⑨第38回 全日本実業団ハーフマラソン大会

H22年3月21日(日) 山口市

昨年からの世界的金融不況が益々深刻化し、先行きの見えない状況を呈する現実直面している。そんな中で、このところとみに新聞報道等は、各種競技団体の有名強豪チームが廃部あるいは休部の状況を伝え、大変な事態に遭遇している。

受け止め方は、それぞれの立場立場で異なるであろう。ただ間違いなく言えるのは、これまでの延長線上で、何も努力せずに安閑としていては存続すら危ぶまれるということであろう。……知恵を出し合って、皆でこの厳しい状況を克服していきたいものです。

(樋高 勇二)

## マスターズ陸上

### 心豊かな長寿社会への貢献役

2008年度も残り少なくなりました。そこで今年度のマスターズ陸上を振り返ってみたいと思います。連盟組織の基盤である会員数の現状ですが、今年度の最終会員数は、前年度比13人増の278人となり、これは過去最高の会員数となっています。愛知陸協の会員数と比べると比較にならないほど微小ではありますが、陸上競技を愛し、楽しんでいる点では決して引けをとらないと思います。愛知は人口も多く、陸上競技人口からしても、もっと多くの人々に入会していただけるよう努めなければいけないと考えます。特に2009年9月には全国大会を開催しますので、何とか300人を超える会員を集め、多くの選手が参加していただけるようにしたいと考えています。

競技の運営面では、第7回東海マスターズ陸上競技選手権大会を、多くの関係者のご協力のお蔭で瑞穂公園陸上競技場で開催できたことが大きな収穫でした。参加した選手は、この競技場でグラウンドの感触をつかめたかと思わずし、運営する側も会場の使い勝手をこの大会で学んだことが大きく、ここで得たノウハウを、全国大会の運営に活かしたいと考えています。

競技成績では、4月の都道府県対抗・全日本マスターズ駅伝大会で、男子5位、女子5位、エルダー9位でした。最近では、この3部門で常に10位以内を確保できる力を蓄えてきました。あと一步のレベルアップで、優勝争いに加わることも夢ではなくなってきました。

個人種目では、5月に瑞穂公園陸上競技場で開催された東海選手権大会には、愛知から172人が参加しました。9月の全日本選手権宮崎大会には愛知県から48人が参加し、15人が25種目で1位となりました。10月の全国スポレク祭滋賀大会には代表選手20人を派遣し、7人が9種目で1位となりました。

その後、昨年12月開催予定であったタイ、チェンマイでのアジア選手権大会は、タイ国内情勢が悪化したため本年1月に延期されましたが、愛知県から6人が参加し2人が5種目に1位となりました。これらの大会を総じて、際立った活躍をしたのは、W60の加藤敦子さん(豊川市)です。東海選手権、全日本選手権、アジア選手権すべての大会の砲丸投、円盤投、やり投で出場した種目全て1位、その上、東海選手権では円盤投で日本新記録、アジア大会ではやり投で大会新記録といった活躍でした。今年7月、フィンランドで開催される世界選手権での活躍が今から期待されます。(佐野 昭二)

## アジアマスターズ陸上に参加して



2年に1回開催されるアジア大会、今回はタイのチェンマイで行なわれました。チェンマイは1月のこの時期、気候は快適、競技には最適の条件でした。

愛知県からも6名の方が参加し、力走力投の大活躍でした。

私がマスターズ陸上の大会に参加するようになって早5年になります。健康面が気になり始め、ウォーキングやジョギングを行なうようになりましたが、何か物足りなさを感じていた時に、マスターズ陸上の存在を知りました。今は投てき専門に競技会を楽しんでいます。今回のアジア大会、3種目に出場しましたが思うように飛ばなかったり、思わず好記録が出たりと、ワクワクドキドキ大いに楽しみました。アジア各地のマスターズ選手の皆さんも元気で陽気、活気のある様子は「素敵に年を重ねているな」と、温かい気持ちになりました。(加藤 敦子)

## 愛知陸協 OB 会

## 愛知陸協 OB 会新年懇親会

恒例のOB会新年懇親会が西三河支部の世話役で、1月23日～24日に岡崎市の桑谷山荘で開催いたしました。当日は好天に恵まれ、会場は海拔350mで三河湾国定公園内にあって雄大な自然と素晴らしい環境につつまれ、参加者40名が記念写真のあと、おいしい海の幸に舌つづみしながら、ビール、酒などがすすみ、またカラオケで大いに盛り上がりました。陸上競技を愛し、陸上界のために今尚情熱を持ち続ける同士だけに話は尽きず、部屋へ戻ってから夜のふけるまで宴が続いたようです。翌日は朝食後1Fロビーで解散式を行ない、全員大満足で帰路につきました。来年は尾張支部が担当です。一人でも多くの皆さんがご参加下さいますようお願いいたします。(村瀬雄一郎)

## 競技会報告

## 第26回全日本大学女子駅伝

2008年10月26日(日)

宮城陸上競技場→仙台市役所前広場

成績(本県分のみ)

第3位 名城 2:08.47

(浦川有梨奈・西川生夏・野村沙世・生島希乃・井原未帆・佐藤絵里)

区間賞 6区(8.0km) 佐藤絵里(名城) 26.53

## 平成20年度東海高校駅伝

2008年11月23日(日) 岐阜

男子成績(本県分のみ)

第2位 豊川 2:07.11

(田中秀幸・相澤京佑・マチャリアジョセフムンガ・守田収一・山本健太・勝又敬央・小久保雄太)

第4位 豊川工 2:07.43

区間賞 7区 小久保雄太(豊川) 14.58

女子成績(本県分のみ)

第1位 豊川 1:07.56

(二宮悠希乃・伊澤菜々花・鷺見咲也加・松平結奈・下村環加)

第2位 豊川工 1:10.28

第3位 中京大中京 1:11.33

区間賞 3区 鷺見咲也加(豊川) 9.51

4区 松平結奈(豊川) 9.55

5区 下村環加(豊川) 16.03

## 第70回東海学生駅伝対校選手権大会

2008年12月7日(日)

コース:知多半島一周 7区間

男子成績(本県分のみ)

1 愛工大 A 3:22.54

(鳥羽邦彦・中山祐平・清水翔太・山村圭介・田中智博・吉田士恩・金谷将史)

2 中京大 A 3:23.59 7 名工大 3:31.19

3 名大 A 3:24.36 8 愛学大 3:31.48

5 愛教大 3:27.17 10 名城大 3:32.21

## 第2回東海学生女子駅伝対校選手権大会

2008年12月7日(日)

コース:知多半島一周 5区間

女子成績(本県分のみ)

1 名城大 A 1:27.31

(津崎紀久代・谷水見圭・浦川有梨奈・須谷綾香・野村沙世)

2 中京大 1:33.55 6 名大 1:39.59

3 中女大 A 1:35.59 7 愛学大 1:45.08

4 愛教大 1:38.00 8 名市大 1:51.38

5 椋女大 1:38.28 9 愛県大 1:55.52

## 2008年駅伝カーニバル

## 兼2009年第63回名岐駅伝競走大会予選会

2008年12月14日(日) 庄内緑地公園周回コース

成績

男子一般

1 トーエネック 2:01.51

(野村真司・阿部哲史・大井崇宏・浅羽慶彦・角田達彦・木村聡寿)

2 TWRC 2:05.29 5 名大俱樂部 2:09.50

3 名城大 2:07.40 6 愛知大 2:10.28

4 三菱自動車岡崎 2:08.18

女子一般高校

1 名経大高蔵高 A 1:08.26

(鈴田真由・酒井優実・成田裕美・近藤彩香・安東ニシヤ)

2 愛知教育大 A 1:09.12 5 津島北高 1:13.56

3 千種高 1:09.58 6 西春高 1:14.47

4 庄内 RT 1:11.36

男子高校

1 科技高豊田 1:57.31

(坂本仁紀・中村信司郎・鈴木雄貴・高田知樹・小谷秀・太田真登)

2 愛産大工 1:58.28 5 熱田 1:59.34

3 津島北 1:58.31 6 旭丘 1:59.56

4 岡崎北 1:59.03

男子中学

- 1 六ツ美北 A 44.58  
(中根一貴・山本雅人・宮田峻佑・畔柳洋志・本澤亮太)
- 2 六ツ美北 B 45.54 5 沓掛 A 46.26
- 3 美川 A 46.01 6 岡崎南 A 46.39
- 4 葵 46.19

女子中学

- 1 竜海 A 46.16  
(杉浦貴恵・藤原葵・石川華子・国領紗江・市川加奈子)
- 2 岩津 46.50 5 城北 A 47.43
- 3 岡崎南 A 47.09 6 福岡 A 47.53
- 4 六ツ美北 A 47.36

平成20年度第7回県小学生クロスカントリーリレー競走大会  
(県小学生長距離記録会)

兼2009「第11回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会」県選考会  
平成20年12月14日(日) 豊橋市陸上競技場

成績

- 第1位 岡崎 JAC-A 30.11.32  
(長谷川大祐・中根千明・山本周作・山本美沙・木村颯・柴田玲菜・稲葉康太・諸富愛奈)
- 第2位 田原陸上クラブ A 30.29.38
- 第3位 豊橋陸上クラブ A 30.52.77

第16回全国中学校駅伝

2008年12月21日(日)  
山口県セミナーパーク・クロスカントリーコース  
男子の部(18km) 女子の部(12km)

男子成績(本県のみ)

- 第3位 六ツ美北 57.40  
(畔柳洋志・山本雅人・宮田俊佑・本田元樹・西野智貴・中根一貴)

区間賞 5区(3.0km) 西野智貴(六ツ美北) 9.33

女子成績(本県のみ)

- 第19位 沓掛 42.30  
(小林礼佳・村瀬香奈・安井佑美香・鈴木萌・小林史佳)

第59回全国高校駅伝(男子)

2008年12月21日(日)  
京都市西京極陸上競技場付設マラソンコース  
7区間 42.195km

成績(本県のみ)

- 第14位 豊川工 2.06.57  
(早川智浩・水野真治・正木翔・阿部卓・近並郷・西村勇紀・小島秀斗)

第20回全国高校駅伝(女子)

2008年12月21日(日)  
京都市西京極陸上競技場付設ハーフマラソンコース  
5区間 21.0975km

成績(本県のみ)

- 第1位 豊川 1.07.37  
(二宮悠希乃・伊澤菜々花・加藤麻美・下村環加・W・ワイリム)
- 区間賞 2区(4.0975km) 伊澤菜々花(豊川) 12.54  
4区(3.0km) 加藤麻美(豊川) 9.14
- 第30位 豊川工 1.11.20  
(奥田和佳奈・馬場麻美子・小林愛実・中井美月・渡辺恵)

第40回元旦ロードレース・競歩大会

平成21年1月1日(木) 庄内緑地公園周回コース

成績

一般大学男子 10km

- 1 加藤 聡(トヨタ自動車) 31.48
- 2 林 勇輝(大同特殊鋼) 32.17
- 3 磯部 敏満(TPAC) 32.18

一般大学男子 20km 競歩

- 1 宇波 栄樹(小松短大) 1.28.05
- 2 荒井 広宙(福井工大) 1.32.52
- 3 山崎 文也(小松短大) 1.37.38

高校男子 10km

- 1 浅井 健也(熱田) 33.43
- 2 鈴木 一史(熱田) 33.45
- 3 伊藤 英晃(愛産大三河) 33.54

高校男子 10km 競歩

- 1 南 雄斗(滋賀学園) 48.11
- 2 若菜 純一(滋賀学園) 48.53
- 3 木村 洋介(弥富) 49.06

一般高校女子 10km

- 1 山下由都季(至学館高) 40.50
- 2 手塚 美穂(至学館高) 43.34
- 3 高橋 実由(至学館高) 43.49

一般高校女子 5km 競歩

- 1 前田 紗希(一宮高) 26.09
- 2 光田 理子(津島北高) 26.59
- 3 天野 志保(津島北高) 27.19

第27回全国都道府県対抗女子駅伝

2009年1月11日(日)  
京都・西京極陸上競技場発着 9区間 42.195km

成績(本県のみ)

- 第10位 愛知 2.19.56  
(二宮悠希乃・湯田友美・西川かりん・伊澤菜々花・加藤麻美・中条宏美・下村環加・清田真央・奥田和佳奈)

第14回全国都道府県対抗男子駅伝

2009年1月18日(日)  
広島・平和記念公園前発着 7区間 48.0km

成績(本県のみ)

- 第14位 愛知 2.21.47  
(田中秀幸・松井将器・吉村尚悟・山本修平・早川智浩・石黒大介・仲野旭彦)

第63回名岐駅伝 2009年2月1日(日)

男子一般の部(大垣城ホール前~中日新聞社)

- 1 トヨタ自動車 2.31.14  
(尾田賢典・吉村尚悟・内田直将・ジョンソナー・三島慎吾・浜野健)
- 2 トヨタ紡織 2.32.42 5 愛知製鋼 2.35.26
- 3 愛三工業 2.33.28 6 柳河精機 2.36.35
- 4 NTN 2.34.22

男子高校の部(岐阜県庁前~中日新聞社)

- 1 上野工 1.59.15  
(田中勝大・中村匠吾・松本賢太・久保田健太・竹岡慎也・飯尾真走)

2	佐久長聖	1.59.29	5	豊川	2.01.24
3	中京	2.00.10	6	浜松日体	2.01.47
4	豊川工	2.00.32			

3	北村 幸奈 (愛知淑徳)	1.20.40
4	吉岡 里紗 (中京)	1.21.12
5	山本しおり (名古屋)	1.24.46
6	西田 雅美 (岐阜)	1.26.52

### 横浜国際女子駅伝 FINAL!

2009年2月22日(日)  
みなとみらい21「横浜赤レンガ倉庫」発着・  
横浜市内42.195km 駅伝コース

成績

第12位 東海・北陸選抜 2.24.34  
(伊澤菜々花・佐藤絵里〔新潟〕・加藤麻美・  
水口侑子〔三重〕・奥田和佳奈・二宮悠希乃)

## 第31回読売犬山ハーフマラソン

好天の2月22日(日)、名証犬山総合運動場発着の21.0975kmで、新設された登録大学男子・女子を加えた4種目(382名完走)で行われた。沿道には、たくさんの観衆が、必死に頑張るランナーに「がんばって!」と拍手したり、手を振りながら声援していた。

主催の犬山市・読売新聞社をはじめ、レース運営にご支援いただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。



いっせいにスタート



トップ争いをする選手たち

写真提供  
読売新聞社

大会成績結果 (太字は愛知)

公認男子	1	中尾 勇生 (トヨタ紡織)	1.03.38
	2	佐藤 秀和 (トヨタ紡織)	1.03.42
	3	鷺見 知彦 (トヨタ紡織)	1.03.46
	4	中村 高洋 (京セラ鹿児島)	1.03.46
	5	阿部 哲史 (トーエネック)	1.03.47
	6	澁谷 明憲 (柳河精機)	1.03.57
公認女子	1	林 敬熙 (韓国・水原市庁)	1.11.14
	2	朴 鎬善 (韓国・三星電子陸上団)	1.15.16
	3	田中 千洋 (大通)	1.16.34
	4	金 成恩 (韓国・三星電子陸上団)	1.16.56
	5	李 銀貞 (韓国・三星電子陸上団)	1.17.13
	6	星野 芳美 (eA 静岡)	1.17.47
公認大学男子	1	金 啓 (韓国・建国大学校)	1.03.39
	2	渡邊 潤 (駒澤)	1.03.58
	3	千葉 優 (東洋)	1.04.04
	4	工藤 正也 (東洋)	1.04.06
	5	千葉 貴士 (東洋)	1.04.12
	6	鄭 珍赫 (韓国・建国大学校)	1.04.28
公認大学女子	1	伊藤 麻未 (中京)	1.19.26
	2	白川こずえ (中京)	1.20.28

## 第19回西田修平・高橋公一記念国際室内棒高跳競技大会

平成21年2月28日(土) 中京大学豊田学舎大体育館

国際男子

1	鈴木 崇文 (日本)	5.22
2	ジェフ・ライアン (アメリカ)	5.12
3	田中 宏昌 (モンテローザ)	5.12

国際女子

1	レーチェル・グレイ (アメリカ)	4.02
2	近藤 高代 (日本)	4.02
3	堀 さやか (アラキスポーツ)	3.82

男子選抜

1	奈良 光基 (日体大)	5.15
2	三添 章吾 (びわこ成蹊スポーツ大)	5.00
3	西島 晃一 (福岡大)	4.80

女子選抜

1	前田 朋子 (中京大 AC)	3.80
2	門杉 有香 (米原 AC)	3.60
3	森 希衣 (日体大 AC)	3.40

## 福岡国際クロスカントリー大会

平成21年2月28日(土) 福岡市海の中道海浜公園

成績 (女子関係分)

ジュニア 6km

1	伊澤菜々花 (豊川高)	20.06
---	-------------	-------

## 第30回名古屋国際女子マラソン

春の日差しが暖かく振り注ぐ3月8日(日)、一般参加の高橋尚子選手をはじめ、女子マラソンランナー(264人が出場)を一目見ようと、瑞穂運動公園陸上競技場や沿道に多くの観衆が集まった。8月に開催される世界選手権(ベルリン)の最終選考会を兼ねての大会でもあり、沿道には70万人(大会事務局発表)が、ランナーの走りに声援を送って



写真提供: 中日新聞社

いた。レースは、5km付近から4人の上位争いが繰り広げられ、36.9kmで藤永選手が新谷選手を追い抜き先頭に立ち、そのままゴール。初マラソンでの優勝を飾った。高橋選手は、終始笑顔で沿道の観客に手を振り、「ありがとうラン」で走り終えた。

主催の(財)日本陸上競技連盟と中日新聞社、レース運営にご支援いただいた愛知県警をはじめ、後援団体・企業など関係各位に厚くお礼申し上げます。

大会成績結果 (1~10位)

1	藤永 佳子	東京・資生堂	2.28.13
2	堀江 知佳	千葉・アルゼアスリートクラブ	2.29.09
3	町田 祐子	宮城・日本ケミコン	2.29.35
4	藤田 真弓	長崎・十八銀行	2.29.56

5	小川 清美	京都・京セラ	2.29.58
6	平田 裕美	東京・資生堂	2.30.16
7	中山 亜弓	群馬・ヤマダ電機	2.30.53
8	新谷 仁美	千葉・豊田自動織機	2.30.58
9	キャロライン・キレル	KEN・ケニア	2.31.42
10	木富 淑絵	北海道・ホクレン	2.32.08

県勢の活躍 (50位以内)

32	風岡さやか	庄内 RT	2.54.27
36	岩崎 栄美	館俱樂部	2.55.43
43	檜尾 園子	名城オールランナースクラブ	2.57.31

## 第57回日比野賞中日豊橋マラソン

3月15日(日)豊橋陸上競技場をスタートし、新城市石田を折り返す42.195km。前日の強風とは打って変わり、春の日差しの中を159名の選手が三河路を駆け抜けた。今回で最後となる大会だけに、選手たちは、ラストランに過去の思い出を抱きながら汗を流した。

主催の豊橋市と中日新聞社をはじめ、レース運営にご支援いただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。

### フルマラソンの結果 (1~10位)

1	阿部哲史 (トーエネック)	2.26.33
2	岩月 崇 (館俱樂部)	2.27.03
3	角田達彦 (トーエネック)	2.29.10
4	江本悟司 (三菱自動車岡崎)	2.33.49
5	原田高志 (トヨタスポーツマンクラブ)	2.33.59
6	井上圭人 (TEAM KAKERU)	2.34.05
7	伊藤 潤 (三菱自動車岡崎)	2.35.12
8	本行辰朗 (TTランナーズ)	2.35.40
9	松葉広司 (守山自衛隊)	2.36.25
10	百瀬永吉 (長野陸協)	2.36.26



競技場からコースに出る選手たち



1位でゴールする阿部選手

## 理事会等会議報告

○理事会 平成20年12月16日(火) 愛知県教育会館

### 1 協議事項

- ①任期満了に伴う役員を選任について
- ②各種栄章候補者の推薦について
- ③平成21年度競技会等の日程(案)について
- ④全国都道府県対抗女子・男子駅伝の選手選考について
- ⑤2009年名古屋国際女子マラソンについて
- ⑥2009年犬山ハーフマラソンについて
- ⑦2009年名岐駅伝大会について
- ⑧第19回西田・高橋記念国際室内棒高跳競技会について
- ⑨冬季強化合宿について

### 2 報告事項

- ①日本陸連評議委員会の報告
- ②愛知県体育協会表彰者の推薦について

③ジュニアオリンピック大会等の結果報告

④全国強化委員長会議の報告

○常務理事会 平成21年1月9日(金) 愛知県教育会館

### 1 協議事項

- ①次期新理事長について
- ②平成21年度の競技会等の日程(追加・変更)について
- ③公認審判員の昇格候補者の推薦について
- ④名古屋国際女子マラソン大会の委員・業務・日程(追加・変更)について
- ⑤中日豊橋マラソン大会について



### 2 報告事項

- ①専門委員会の報告
- ②その他

○常務理事会 平成21年2月16日(月) 愛知県教育会館

### 1 議題

- ①第30回全国マスターズ陸上競技選手権大会への愛知陸協の関わり方について
- ②2009犬山ハーフマラソン大会について
- ③2009名古屋国際女子マラソンについて
- ④その他
  - ア日本陸連評議員1名の追加について
  - イ副理事長について
  - ウその他

(稲垣 裕)

## 栄章

おめでとうございます

平成20年度愛知県体育協会体育表彰式が平成21年3月18日(水)「ウイルあいち」で行われました。受賞された皆様には、心からお祝い申し上げます。

### 1 特別優秀選手

(オリンピック入賞) 室伏広治

### 2 体育功労者

(スポーツ振興) 佐藤友行 近藤 弘 小森好治  
川浪泰郎 岡田達幸 櫻井一美

### 3 優秀選手、監督

(オリンピック出場) 室伏広治 内藤真人 岩水嘉孝  
(公認日本記録樹立) 中村明彦  
(国民体育大会優勝) 岩水嘉孝  
(日本選手権大会等優勝)

室伏広治 岩水嘉孝 内藤真人 中田有紀  
室伏由佳 今井沙緒里 中村明彦 河澄真子  
鈴木祐太 (稲垣 裕)

## 編集後記

◆20年度も数々の競技会で涙と笑顔があった。「ありがとうラン」の高橋尚子選手の笑顔が今も心に残る。◆「学校紹介」欄を新設。豊川高・岡崎城西高・六ツ美北中を取材。前向きな活動と礼儀正しさに感動。先生・部員の皆さんに多謝。◆新たなスタートは、新たなチャレンジの始まり。大きく飛躍できる21年度にしたいと願う!

## 編集委員

占部 輝之 大久保真理子 大西 敏功 外山 修  
中尾 洋一 新美 準人 西垣 完彦 野口 一昭  
山本 三郎